

Biotope Planners and Builders

平成29年度

ビオトープ 管理士 資格試験

受験申込期間

平成29年
6月1日(木)～8月12日(土)

筆記試験日

平成29年
9月24日(日)

ビオトープ管理士1万人突破!

平成29年度 ビオトープ管理士 資格試験

受験申込期間

平成29年6月1日(木)～8月12日(土)

受験手数料

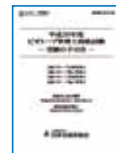
1級 11,000円 「1級の筆記試験合格者」の再受験は5,000円
2級 7,000円

筆記試験会場

札幌、盛岡、仙台、水戸、東京、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、広島、徳島、福岡、鹿児島、那覇
ほか、「サテライト会場」「キャンパス受験」
*盛岡、水戸、金沢、広島、徳島、那覇は、2級のみ
*受験者数が最少催行人数20名に達しない場合は、他会場での実施となります。

申込方法

公式サイトで「受験の手引き」をダウンロードし、受験申込の手続きをしてください。インターネットをご覧になれない方、PCやプリンタをお持ちでない方は、お取り寄せも可能です。



筆記試験日

平成29年9月24日(日)

口述試験日 1級筆記試験合格者のみ

平成29年12月9日(土)

試験科目

|筆記試験|
生態学、ビオトープ論、環境関連法、計画部門または施工部門
1級 択一問題、記述問題、小論文
2級 択一問題、小論文
|口述試験|
筆記試験に合格した1級

ビオトープ管理士の種類

ビオトープ
計画管理士

まちづくりや地域づくりの視点から、自然生態系の保全・再生を行う

1級
ビオトープ
計画管理士

Senior
Biotope
Planners

2級
ビオトープ
計画管理士

Junior
Biotope
Planners

ビオトープ
施工管理士

設計・施工の現場により近い視点から、自然生態系の保全・再生を行う

1級
ビオトープ
施工管理士

Senior
Biotope
Builders

2級
ビオトープ
施工管理士

Junior
Biotope
Builders

1級 合格率 約29%
経験の豊富な事業の責任者レベル(受験資格あり)
2級 合格率 約56%
基礎知識のある技術者レベル(どなたでも受験可能)

合格率は、平成28年度における実績です

学生 キャンパス受験

15名以上
なら

在校生・卒業生あわせて15名以上の受験者がいる場合、自主運営の筆記試験会場を設置できます。普段通っている校舎での受験が可能になります。詳しくはお問合せください。

キャンパス受験申込み期間
平成29年7月31日(月)

受験者 サテライト会場

30名以上
なら

30名以上の受験者がいる場合、自主運営の筆記試験会場を設置できます。試験会場が遠方の方、組織単位で受験をお考えの方などにご利用いただけます。詳しくはお問合せください。

サテライト受験申込み期間
平成29年7月31日(月)

ビオトープ管理士資格試験の傾向と対策
平成29年度 ビオトープ管理士セミナー
受験される方はもちろん、ビオトープに関心のある方、まちづくりや土木施工に関わる方に向けて、2日間にわたり5科目の講義をおこないます。

大阪

6月3日(土)4日(日)
新大阪丸ビル

東京

7月1日(土)2日(日)
研究社英語センター

[科目] 生態学、ビオトープ論、環境関連法、計画部門、施工部門 各2時間
[講師] 1級ビオトープ管理士 [受講料] 5科目 25,000円 早割 開催1ヶ月前までのお申込みで20,000円

公益財団法人 日本生態系協会 www.biotop-kanrishi.org 公式サイトは「ビオトープ管理士」で検索

公益財団法人 日本生態系協会 ビオトープ管理士係 受付時間 月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～15:00
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル Tel. 03-5954-7106 Fax. 03-5951-0246 (直通)

「ビオトープ管理士®」は、(公財)日本生態系協会の登録商標です

ビオトープ管理士
Biotope Planners and Builders

公益財団法人
日本生態系協会

ビオトープとは？

“ビオトープ”とは、地域の野生の生きものたち[Bio]が生息する空間[Top]を意味するドイツ語です。私たちは自然のめぐみに支えられて生きていますが、持続可能な社会であるためには、健全な自然とその土台となる“ビオトープ”が必要です。

ビオトープ管理士。 持続可能な社会を目指す 技術者

地域で受け継がれた自然や歴史、文化など貴重な財産と、国際的な動向を踏まえたまちづくり・くづくりに実践できる技術者が、ビオトープ管理士です。その資格には、生きものに関する知識だけでなく、法律、技術、倫理観、評価力、応用力といった幅広い能力が求められます。その幅広さと、専門性・質の高さで信頼をいただき、公的な入札条件や評価の対象として広く活用されています。コンクリート中心のグレーインフラから、持続可能なグリーンインフラの時代へ。自然と共存する緑の防災・減災にも活用できます。

信頼ある資格。 行政・民間、活躍の場

環境省や国土交通省、農林水産省などの中央省庁や地方自治体で、ビオトープ管理士の資格が入札条件や技術者の評価対象として採用されています。近年ではビオトープ管理士だけが扱える「ビオトープ事業」も増加していま



すが、入札条件ではない場合も“自然事業の専門家”としての証となります。

都市・地域計画、土木・造園、農業、環境調査、製造、不動産、サービスなどあらゆる業種でも「生物多様性」や「持続可能」というキーワードは不可欠となりました。ビオトープ管理士の資格は、環境問題に関わる業務へのさらなる信頼度を高める要素となります。

また、教育の分野では「持続可能な開発のための教育(ESD)」が世界で取り組まれています。ビオトープ管理士は環境教育の指導者としても公認されており*、次世代に向けた人材づくりも担っています。

*「ビオトープ管理士資格試験」は、環境教育等促進法に基づき、環境教育の人材認定事業に登録されています。詳しくは環境省のサイトをご覧ください。

資格を通してつながる、 日本ビオトープ管理士会

累計1万人を超えた、ビオトープ管理士。全国の有資格者が集まる「日本ビオトープ管理士会」では、地域に密着した支部とともに、勉強会や広報イベントを展開しています。考え方や活動の参考となる会員の活躍や、資格の活かし方は、冊子『ビオトープ管理士ってこんな人たち』をご覧ください。



公式サイトでダウンロードできます



1級
ビオトープ
施工管理士

吉田 文雄 さん
神奈川県立
足柄ふれあいの村
学芸員

これまでは自然観察会や地域の自然調査をしながら、あまり難しいことは考えず和気あいあい、みんなと一日過ごしていたように思う。いつも何か目的がはっきり見えなくて、子どもたちとの授業や、観察会に来た人との会話は単なる自然の知識の受け売りになり、漠然と自然を知り自然を尊び自然を大切に自然保護を唱えていたように思う。

何かもう少ししっかりした考え方を身に付けたいと思っていた時に、尊敬する人からビオトープ管理士の話を聞いた。定年後であり今さら勉強なんてととも思っていたが、楽しく学べた生態学、ビオトープ論、施工部門と今までと違った深みのある自然観を学んだ。そして環境関連法など難しい勉強もあったが、やりがいのある勉強であった。

今回、ビオトープ管理士の資格を取って、今まで培ったいろいろな知識が幅広く活かされ自信を持って活動できると思った。これからは、植物、動物、菌類と人のつながりを一体に捉え、ビオトープ管理士行動規範に則りビオトープの保護・保全・還元・創出に努めたい。



2級
ビオトープ
施工管理士

小田川 辰夫 さん
有限会社フローラ

造園施工管理士の資格を取得してから主に植栽工事を中心に仕事をしてきました。数年前に知ったビオトープ管理士の資格に興味があり何度か受験を検討しましたが、私の住むところが小笠原諸島ということもありなかなか予定がたてられませんでした。

そんな中、小笠原でもサテライト会場で受験が出来るということを知り会社の仲間にも呼びかけて受験をしました。受験の日程が決まると勉強にも身が入ります。また、上京するための様々な段取りを考えずに受験だけに集中できました。今回この機会を与えてくれた関係各位に感謝したいと思います。



1級
ビオトープ
計画管理士

竹内 美晴 さん
株式会社協同測量社
環境部

私が「ビオトープ管理士」と出会ったのは、新しい資格ができるという新聞記事でした。建設コンサルタントで環境調査を生業としている私にとって、「ビオトープ管理士」の資格は名刺にかけられる貴重な資格でした。仕事で培った基礎知識がある!と臨んだ初年度は見事に玉砕しましたが、今ではビオトープ管理士の資格取得を目指す学生さんたちのお手伝いをする機会にも恵まれています。合格することが目的ではなく、資格試験の勉強を通じて、自分の中に生物多様性や生き物とのつながりという引き出しを作ってもらえれば、いつかその引き出しに新しいデータを入れていくことが出来るのでは、と思っています。

ビオトープの知識を持った技術者の卵たちが社会で活躍する日を夢見て、私はせっせと種をまいていきたいと思っています。



1級
ビオトープ
施工管理士

石濱 謙一 さん
株式会社加藤建設
ゼネラルマネジメント室
自然環境課

ビオトープ管理士を会社で受験したことで良かったことは、やはり“仕事に対する環境意識が変わった”ことですね。私は土木建設業に従事していますが、工事現場の自然を守るのは私たちビオトープ管理士だという思いが強くなり、常に環境にやさしい土木工事を考え、提案しています。

今では、自然環境に配慮した土木工事を進める活動を全社的に進める立場になり、社員のみならずビオトープ管理士の資格を取ろうとがんばった結果、お陰様で社内に130名のビオトープ管理士仲間ができました。これからも社内外に“環境配慮型の土木”を広めたいと思います。

VOICE

先輩ビオトープ管理士 みなさんの 声



2級
ビオトープ
施工管理士

山本 美紗代 さん
エクステリアプランナー
タウ・デザイン

大学在学中に「ビオトープ」という言葉を授業で聞いて興味を持ったことで、将来の仕事に活かせたらと思い受験しました。日本では太古から自然の恵みを享受しながら日々の生活が営まれており、それが風土・風習につながっています。現在は、そのことを念頭に、エクステリアプランに携わっています。庭という暮らしの中で、身近に感じられる自然環境を提案することが、まちなかに自然を増やしていく役割のひとつであり、そのきっかけづくりができるよう努めています。

日本ビオトープ管理士会宮崎県支部では、「ビオトープ」に関心のある様々な分野の方々を交えて、県内の自然環境の現状や課題について情報交換の場を設けており、今後は積極的にアドバイスや提案等を行っていきたくと思っています。